

## 東畑開人氏との対話①「なぜ、いま精神分析か」

**企画担当：** 藤山直樹

**目 的：** 今年からの新しい企画です。

当財団理事長、日本精神分析協会訓練分析家の藤山をホストとして、こころの臨床、対人援助という広い視野で考えるときに精神分析の果たす役割という大問題に切り込むような、そういう対話を、今後継続する予定です。

藤山も 70 代半ばになろうとしており、こうした大きな問題を語り合えるのもそれほど長くはないだろうという考えのもとに開始いたします。

最初の 3 年、対話の相手として呼び出すのは、東畑開人氏です。東畑氏は、開業の心理臨床家であるとともに、高度な思索をこころに届きやすい形で私たちの前に絶えず提示して来られた、きわめてすぐれた書き手です。2025 年に出版された新書「カウンセリングとは何かー変化すること」では、精神分析の心理臨床のなかでの立場に、ある形を与えられました。その東畑氏とこの時点での対話には大きな意義があると考えます。

東畑氏の読者は臨床家、援助職専門家だけではありません。そうした広い読者の方もいっしょに対話の席にお招きしたいと思います。

### <東畑開人氏プロフィール>

1983 年生まれ。京都大学教育学部卒業、京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。臨床心理士・公認心理師・博士(教育学)。精神科クリニックでの勤務、十文字学園女子大学で准教授として教鞭をとった後、現在白金高輪カウンセリングルーム主宰。

著書に『野の医者には笑う一心の治療とは何か』（誠信書房 2015）『日本のありふれた心理療法ーローカルな日常臨床のための心理学と医療人類学』（誠信書房 2017）「居るのはつらいよーケアとセラピーについての覚書」（医学書院 2019）「ふつうの相談」（金剛出版 2023）「カウンセリングとは何かー変化すること」（講談社 2025）など。

2013 年、日本心理臨床学会奨励賞。2019 年、『居るのはつらいよ』で第 19 回大佛次郎論壇賞、紀伊国屋じんぶん大賞 2020。2021 年、多文化間精神医学会奨励賞。

**対 象：** こころの臨床に関心のある、すべての方のご参加をお待ちいたします。

**日 程：** 9 月 13 日（日）16 時より 18 時

**設 定：** Zoom（オンライン）によるウェビナー開催 二人の対話を視聴し、Q&A での発言ができます。

**料 金：** 2,000 円

**定 員：** 250 名

**申込方法：** 下記 URL または QR コードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/ErBQN1yp8aLXRKVZA>



**申込期間：** 5 月 13 日（水）～8 月 13 日（木）

**問合せ先：** 小寺記念精神分析研究財団 事務局 [kodera.fps@gmail.com](mailto:kodera.fps@gmail.com)